

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日

上場取引所 大

上場会社名 イワブチ株式会社

コード番号 5983 URL <http://www.iwabuchi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 秀吾

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 池谷 謙一

TEL 047-368-2222(代)

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,976	△6.4	△148	△304.0	△173	△258.1	△97	△243.0
24年3月期第1四半期	2,110	△11.1	72	△63.5	109	△48.1	67	△3.0

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △143百万円 (△534.6%) 24年3月期第1四半期 32百万円 (△37.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△8.85	—
24年3月期第1四半期	6.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,127	13,127	76.6
24年3月期	17,822	13,381	75.1

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 13,127百万円 24年3月期 13,381百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,510	0.8	47	△72.4	6	△95.7	5	△93.2	0.46
通期	9,963	3.4	442	△7.7	452	9.0	250	92.5	22.75

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	11,000,000 株	24年3月期	11,000,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	11,508 株	24年3月期	11,381 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	10,988,524 株	24年3月期1Q	10,989,476 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年3月11日に発生した東日本大震災からの復興需要などにより一部に緩やかな回復の兆しが見られはじめました。しかしながら欧州を中心とする世界経済の落ち込みや歴史的な円高等の影響により、先行きはいまだ不透明な状況にあります。

当社グループの大口需要家であり各電力会社では、原子力発電停止による代替発電・安全対策費用の増加から設備予算が削減され、当社グループに関連する配電線路・通信線路分野においても工事量が減少するなど厳しい状況が続いております。

また、ブロードバンド関連においても、地上デジタル化に向けた対策工事等の終了に伴い、各種設備投資や公共投資も削減され全国的に大型物件工事が大幅に減少しました。

一方、情報通信関連において、NTTではフレッツ光の純増数が伸び悩み営業収益が厳しい状況の中、次世代ネットワーク（NGN）への投資や老朽化した設備の更改を進めております。

このような厳しい状況のなか、当社グループの生産部門では、海陽イワブチ（中国工場）の生産特性を活用し、更なる新製品の投入、労働集約型製品の生産移管の推進、中国国内市場の新規参入など積極的に取り組みました。また、営業部門では、省資源に貢献する高耐食めっき製品「MAG+1（マグプラスワン）」の拡販など精力的な営業を展開しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は19億7千6百万円と前年同期に比べ1億3千4百万円、6.4%の減収となりました。また、経常損失は1億7千3百万円と前年同期に比べ2億8千3百万円、258.1%の減益となり、四半期純損失は、9千7百万円と前年同期に比べ1億6千5百万円、243.0%の減益となりました。

セグメントに代わる需要分野別の業績は次のとおりであります。

① 交通信号・標識・学校体育施設関連

交通信号・標識関連工事は、全国的に概ね堅調に推移しました。また、学校体育施設関連については、防球ネット、照明工事共に小規模な補改修工事が中心で低調に推移しました。その結果、売上高は1億4千4百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

② ブロードバンド・防災無線関連

ブロードバンド関連は、昨年7月の地上デジタル化に向けた対策工事等の終了に伴い工事量が減少し、また、防災無線関連については、計画されていた物件工事が繰り延べとなり低調に推移しました。その結果、売上高は2億4百万円と前年同期に比べ1億4千5百万円、41.5%の減収となりました。

③ 情報通信・電話関連

情報通信関連工事は、全国的に概ね堅調に推移しました。また、電話関連については、老朽化したコンクリート柱の建替工事の遅れもあり低調に推移しました。その結果、売上高は5億1千1百万円とほぼ前年同期並みとなりました。

④ 配電線路関連

配電線路関連は、原子力発電停止を受け代替発電用燃料費の増加による収益の圧迫により、工事予算が抑制されるなど厳しい状況の中、積極的な営業活動を展開しました。その結果、売上高は7億7千2百万円と前年同期に比べ2千3百万円、3.2%の増収となりました。

⑤ その他

民間設備投資は、一部では回復基調もみられましたが、全般的に公共工事も含め依然として小規模な保守工事が中心となり低調に推移しました。その結果、売上高は3億4千3百万円と前年同期に比べ1千3百万円、3.7%の減収となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億9千5百万円減少し、171億2千7百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における資産、負債及び純資産の状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(資産の部)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ9億1千3百万円減少し、90億8千4百万円となりました。

これは、主に商品及び製品が2億1百万円増加したこと、現金及び預金が4億6千6百万円、受取手形及び売掛金が7億8百万円減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円増加し、80億4千3百万円となりました。

これは、主に有形固定資産が2億5千8百万円増加したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ4億4千1百万円減少し、39億9千9百万円となりました。

これは、主に未払法人税等が1億2千3百万円、賞与引当金が1億9百万円及び役員退職慰労引当金が2億6百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ2億5千3百万円減少し、131億2千7百万円となりました。

これは、主に利益剰余金が2億7百万円、その他有価証券評価差額金が2千9百万円及び為替換算調整勘定が1千6百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月21日に公表しました「平成24年3月期決算短信」における業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,174,751	3,708,046
受取手形及び売掛金	3,356,116	2,647,879
商品及び製品	1,876,476	2,078,127
仕掛品	163,263	149,790
原材料及び貯蔵品	249,078	233,909
その他	367,829	478,798
貸倒引当金	△189,404	△212,384
流動資産合計	9,998,110	9,084,166
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,566,391	2,515,774
土地	2,865,320	3,189,204
その他（純額）	709,308	694,129
有形固定資産合計	6,141,020	6,399,107
無形固定資産		
投資その他の資産	116,406	111,843
投資有価証券	1,023,538	977,224
その他	747,536	856,537
貸倒引当金	△203,972	△301,491
投資その他の資産合計	1,567,103	1,532,270
固定資産合計	7,824,530	8,043,220
資産合計	17,822,641	17,127,387

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,516,992	1,471,361
短期借入金	358,000	358,000
未払法人税等	138,872	14,880
賞与引当金	229,857	120,353
製品点検補修引当金	50,000	50,000
その他	264,447	400,944
流動負債合計	2,558,170	2,415,540
固定負債		
長期借入金	765,000	675,500
退職給付引当金	568,052	570,048
役員退職慰労引当金	391,922	185,593
その他	158,429	153,072
固定負債合計	1,883,403	1,584,214
負債合計	4,441,574	3,999,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,496,950	1,496,950
資本剰余金	1,210,656	1,210,656
利益剰余金	10,584,470	10,377,274
自己株式	△2,833	△2,886
株主資本合計	13,289,243	13,081,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,787	100,216
為替換算調整勘定	△37,963	△54,578
その他の包括利益累計額合計	91,823	45,638
純資産合計	13,381,067	13,127,632
負債純資産合計	17,822,641	17,127,387

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	2,110,930	1,976,551
売上原価	1,480,538	1,457,695
売上総利益	630,391	518,855
販売費及び一般管理費	557,734	667,096
営業利益又は営業損失(△)	72,656	△148,240
営業外収益		
受取利息	1,103	1,141
受取配当金	18,981	12,586
受取賃貸料	4,368	6,772
貸倒引当金戻入額	10,405	—
持分法による投資利益	4,902	—
その他	3,868	4,036
営業外収益合計	43,629	24,537
営業外費用		
支払利息	4,689	3,372
貸倒引当金繰入額	—	40,523
持分法による投資損失	—	4,272
為替差損	1,599	1,940
その他	24	0
営業外費用合計	6,314	50,109
経常利益又は経常損失(△)	109,971	△173,812
特別損失		
固定資産除売却損	153	9,384
ゴルフ会員権貸倒引当金繰入額	—	1,500
特別損失合計	153	10,884
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	109,818	△184,696
法人税等	41,839	△87,457
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	67,979	△97,238
少数株主利益	—	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	67,979	△97,238

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	67,979	△97,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,017	△29,570
為替換算調整勘定	△7,962	△16,615
その他の包括利益合計	△34,980	△46,185
四半期包括利益	32,998	△143,424
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	32,998	△143,424
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社グループは架線及び機器用の支持部品である電気架線金物及びその付随製商品の製造、仕入、販売を営んでおり、その事業が単一セグメントであるため、記載を省略しております。